

## 取扱説明書

## 充電式 ドライバドリル

定回転制御・ブレーキ付・無段変速・ 正逆転両用・2スピード

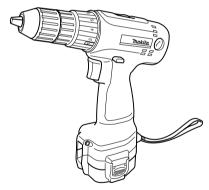
モデル 6315DZ

モデル 6315DRC

(急速充電器・バッテリ付)

モデル 6315DRCSP

(急速充電器・バッテリ2本付)



このたびは**充電式ドライバドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお 読みいただき本機の性能を十分ご理解の上 で、適切な取り扱いと保守をしていただい て、いつまでも安全に能率よくお使いくだ さるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元 に大切に保管してください。

## 主要機能

主要機能	モデル		モデル 6315D	
電	電 動 機		直流マグネットモータ	
バ	ッテ	IJ	ニッケル水素バッテリ	
/\	9 )	.,	バッテリ1233S(高容量2.2Ah)	
電	電圧		直流12V	
П	回 転 数		高速:0~1,100min <sup>-1</sup> (回転/分)	
			低速:0~350min <sup>-1</sup> (回転/分)	
ネ ジ 締 め 能 力		能力	木ネジ:φ6.4×55mm 小ネジ:6mm	
穴 あ け 能 カ		力	鉄工:13mm 木工:24mm	
ドリルチャック能力		能力	1.5~13mm	
機	機体寸法		長さ208mm×幅94mm×高さ228mm	
質量		量	1.6kg(バッテリ含む)	

急速充電器	DC1439	入力容量	370VA
入力電圧	単相交流100V	出力電圧	直流7.2-9.6-12-14.4V
入力周波数	50-60Hz	出力電流	直流9A

・改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、 ご了承ください。

## 

ご使用上の注意事項は $\underline{\Lambda}$ 警告・ $\underline{\Lambda}$ 注意・ $\underline{i}$  に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

▲警告:誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

▲注意: 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、
▲注意
に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注:製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

# 安全上のご注意

- ●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上の ご注意」を必ず守ってください。
- ●ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に 従って正しく使用してください。

#### ≜警告

- 1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- 2. 充電器とバッテリは取扱説明書に記載されている組み合わせで使用してください。
- ・指定以外の組み合わせでは、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
- 3. 正しく充電してください。
- ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・温度が 10 ℃未満、あるいは温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・バッテリは、換気のよい場所で充電してください。バッテリや充電器を充電中、 布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・使用しない場合は電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
- 4. バッテリの端子間を短絡させないでください。 釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
- 5. 感電に注意してください。
- ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 6. 作業場の周囲状況も考慮してください。
- ・充電工具、充電器、バッテリは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火 災の恐れがあります。

### ⚠警告

- 7. 保護めがねを使用してください。
- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防 じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れが あります。
- 8. 防音保護具を着用してください。
- ・騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- 9. 加工するものをしっかりと固定してください。
- ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの恐れがあります。
- 10. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリを本体から抜いてください。
- ・使用しない、または、修理する場合。
- ・刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・その他危険が予想される場合。本体が作動して、けがの恐れがあります。
- 11. 不意な始動は避けてください。
- ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動して、けがの恐れがあります。
- 12. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以 外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
- 13. バッテリを火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。
- 14. バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で充分洗い、医師の 治療を受けてください。
- ・失明の恐れがあります。
- 15. 使用時間が極端に短くなったときは使用をおやめください。
- ・バッテリの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。

#### ⚠注意

- 1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ・ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
- 2. 子供を近づけないでください。
- ・作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
- 3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してく ださい。事故の恐れがあります。
- ・充電工具やバッテリを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(金属の 箱や夏の車内等)に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、 発火の恐れがあります。
- 4. 無理して使用しないでください。
- ・安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してくだ さい。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
- ・モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- 5. 作業に合った充電工具を使用してください。
- ・小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
- 6. きちんとした服装で作業してください。
- ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に 巻き込まれる恐れがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。 すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、薬品、角のとがった所に近づけないでください。
- ・コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

### △注意

#### 8. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけが の恐れがあります。
- 9. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの恐れがあります。
- ・付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
- ・充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店 または弊社営業所に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐 れがあります。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないように してください。けがの恐れがあります。

#### 10. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずして あることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの恐れがあります。

#### 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延 長コードを使用してください。

#### 12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意 して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがありま す。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

### △注意

#### 13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動 するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運 転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた 充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従って ください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または 弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。 異常動作して、けがをする恐れがあります。

#### 14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は本体、充電器、バッテリを分解したり、修理、改造は 行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがありま す。
- ・本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、 事故やけがの恐れがあります。

## 充電式ドライバドリル安全上のご注意

●先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。 JPB022-2.doc

### ⚠警告

- 1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、 作業前に十分確かめてください。
- ・埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故 の原因になります。
- 2. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
- ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 3. 使用中は、キリなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔 などを近づけないでください。
- けがの原因になります。
- 4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
- ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- 5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 6. バッテリは発煙、発火、破裂の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ・端子に金属類を接触させないでください。
- ・釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・雨や水にぬらさないでください。
- 7. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤な どのある場所では充電しないでください。
- ・爆発や火災の恐れがあります。
- 8. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ・ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニール 等の上では充電しないでください。
- ・充電中は、充電器の風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、 燃えやすい物を差し込まないでください。
- ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- 9. バッテリを使用しないときは、必ずバッテリカバーをかぶせてください。

### ⚠警告

- 10. 充電器のバッテリ挿入穴には充電用端子があります。金属片・水などの異物を入れないでください。
- 11. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

#### △注意

- 1. 工具類(キリなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- 2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ・回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 3. 作業直後のキリや切りクズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
- やけどの原因になります。
- 4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
- ・材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ・けがの原因になります。
- 6. 細径ドリルは折れやすいので注意してください。
- ・飛散して、けがの恐れがあります。
- 7. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちにプラグを抜いて充電を中止してください。
- ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

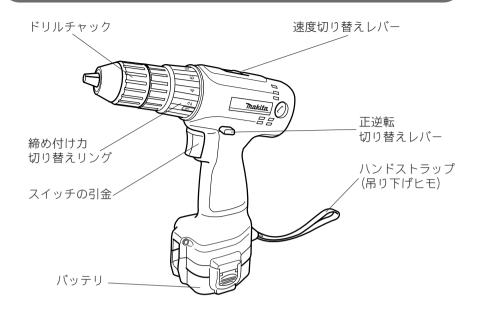
## 注

- 1.ネジに合った純正ビットをご使用ください。
- 2.電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、充電器を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの最大長さ	
0.75mm <sup>2</sup>	20m	
1.25mm²	30m	

## 各部の名称および標準付属品一覧表



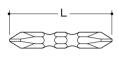
#### 製品の組み合わせ及び標準付属品

モデル 標準付属品	6315DZ	6315DRC	6315DRCSP
バッテリ	×	●バッテリ1233S 2.2Ah	●バッテリ1233S 2.2Ah 2本
急速充電器 (充電時間)	×	●DC1439 (20分)	●DC1439 (20分)
⊕ビット2-65	•	•	•
プラスチックケース	×	•	•
セットプレート	•	•	•

## 別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、最寄りのお買い上げの販売店もしくは、裏表紙に記載のマキタ直営事業所へお尋ねください。

#### ・⊕ビット



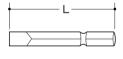
+	—L—	+
d↓	↓D	
<b>↑</b>	<b>↑</b>	



名称	L				
No.1	65				
No.2	45	65	110	150	250
No.3	45				

名称	L	D	d
No.2	82	6	5

• ⊖ビット

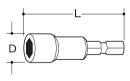




(単位mm)

Α	В	L
0.6	5	45
0.8	5	82
0.6	6	70
1.0	6.35	45
1.2	8	45
1.2	0	70

#### ・ソケットビット





(単位mm)

ボルト サイズ	Α	L	D
M4	7		11
M5	8 55		12.5
M6	10		15

・ホルスタ

## 別販売品のご紹介

・残容量表示付バッテリ1202A (高容量2.0Ah) 標準付属品のセットプレートをご使用ください。

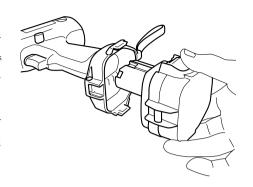


・バッテリ1235 (高容量3.0Ah)



#### バッテリの充電について

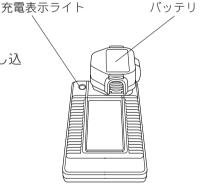
- ・お買い上げ時は、バッテリは充電されていません。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・バッテリを取り出すときは、バッテリ側面のボタンを押しながら抜くと取り外せます。



・急速充電器のプラグを100Vの電源に差し込んでください。 充電表示ライトは「緑」の点滅を繰返

允亀衣ホフイトは「稼」の点滅を繰返 します。

・バッテリを急速充電器に挿入してください。挿入は⊕⊖に注意し充電器の 挿入ガイドにそって充電器の底にあたるまで入れてください。



- ・バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し充電を開始します。
- ・充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わって電子ブザーが「ピー」と約5秒鳴ります。そのままバッテリを差し込んでおけば、トリクル充電を24時間行います。

#### <充電時間一覧表>

急速充電器パッテリ	DC1439
1202A	約14分
1235	約27分

・充電が完了しましたら、バッテリを本機に差し込んでください。

## 注

- ・DC1439はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・新品や長期間使用されなかったバッテリは、1回の充電で満充電にならないことがあります。
  - この様な時は、使用・充電を2~3回繰返してください。
- ・使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。 このようなときは、バッテリの温度が下がると充電を開始します。
- ・DC1439はバッテリの温度が50℃以上の場合は、速い点滅となります。 ニッケル水素バッテリは、待機時間が長くなりますので、冷やすことをお すすめします。
- ・充電開始後、充電表示ライトが「赤」、「緑」の交互点滅を繰り返し、電子 ブザーが「ピッピッピッ」と約20秒鳴った場合はバッテリの寿命またはゴ ミづまりで充電できません。
- ・バッテリを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- ・ニッケル水素バッテリを充電される場合は、充電時間が周囲温度( $10^{\circ}$ ~ $40^{\circ}$ )やバッテリの状態により変動します。(約18分 $\sim$ 30分)

#### トリクル充電について

・充電完了後にバッテリの自然放電を防ぐため、バッテリを差し込んでおけば 微小電流を流し続けて満充電の状態を維持します。

### バッテリを長持ちさせるには

- ・工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・満充電したバッテリを再度充電しないでください。 バッテリが過充電され、寿命を短くします。
- ・充電は10℃~40℃の範囲で行ってください。 使用直後などの熱くなったバッテリは、少し冷やしてから充電してください。
- ・ニッケル水素バッテリは、長期間(6ヵ月以上)ご使用にならない場合、 充電して保管することをおすすめします。

## バッテリの回収について

・使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。 マキタ電動工具登録販売店または直営事業所へご持参ください。



Ni-Cd

ニカドバッテリは リサイクルへ



ニッケル水素バッテリは リサイクルへ

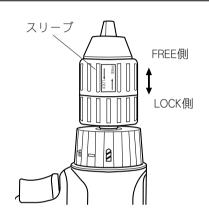
16

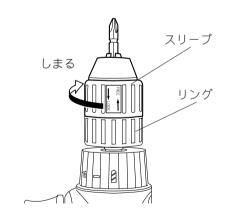
#### ビットの取り付け・取りはずし方

#### ⚠警告

ビットや付属品等の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。

- ・本機が作動して、けがの恐れがあります。
- ・スリーブをFREE側にスライドさせて からスリーブを回転させます。
- ・リングを握りスリーブを左へ回すと ドリルチャックの先端のツメが開き ます。
  - ビットを差し込み、リングをしっかりと握りスリーブを図の矢印方向(右)に回して強く締め付けてください。
- ・締め付けを完了したらスリーブを LOCK側にスライドさせてください。
- ・取りはずす場合は、スリーブをFREE 側にスライドさせてリングを握りス リーブを左へ回してゆるめ、ビット を抜き取ってください。





## 注

- ・スリーブをLOCK側にしたまま無理にスリーブを回転させないでください。 故障の原因となります。
- ・スリーブがFREE側の状態で使用しますとチャックがゆるみビットが脱落することがありますので、必ずLOCK側にスライドさせてからご使用ください。

#### スイッチの操作

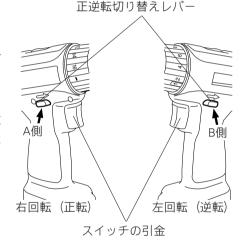
## ⚠警告

バッテリを入れる前にスイッチの引金を引き、離したとき引金が戻ること を必ず確認してください。

- ・スイッチの引金が正しく作動しないと、事故の恐れがあります。
- ・スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・スイッチは引金の引き加減により、お望みの回転数が得られます。

### 正逆転切り替えレバーの操作

- ・正逆転切り替えレバーのA側を押す と右回転(正転)し、B側を押すと 左回転(逆転)します。
- ・正逆転切り替えレバーを中間の位置 にすると、スイッチの引金が引けな くなります。

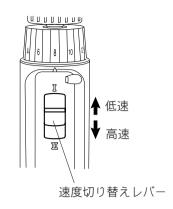


## 注

- ・ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- ・正転・逆転の切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。 回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ・本機を使用しないときは、正逆切り替えレバーを中間の位置にしておいて ください。

#### スピードの切り替え操作

- ・速度切り替えレバーをⅡ側にスライ ドさせると高速になり、Ⅰ側にスラ イドさせると低速になります。
- ・ご使用前に速度切り替えレバーが正 しい位置にあることを確認し、作業 にあった回転数で使用してくださ い。



### 注

- ・速度切り替えレバーは正しい位置にセットしてください。"I"側と"II" 側の間の位置で使用すると故障の原因となります。
- ・スピードの切り替えは、モータの回転が停止した状態で行ってください。 回転中に切り替えますと故障の原因になります。

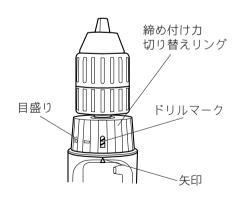
#### 締め付け力切り替えリングの操作

・締め付け力を変えるときは、締め付け力切り替えリングを回転させてください。

締め付け力切り替えリングは、クラッチが働く16段階と、クラッチの働かないドリルモードの17段階の切り替えができます。

締め付け力は1、2、…、16の順に 強くなります。

作業前に実際にお試しの上ご使用く ださい。



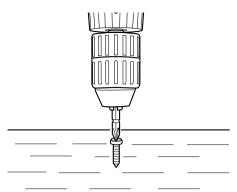
## 注

・ "16" とドリルマークの中間で使用すると故障の原因となります。

#### ネジ締め

・ビットをネジの頭部の溝にあて、ス イッチの引金を徐々に引いてネジの 頭部からビットがはずれない程度の カで押しつけてください。

クラッチが作動しましたら、スイッチの引金を離してください。



### 注

- ・締め付けるネジに対して本機をまっすぐに保持してください。本機が斜め になりますと、ネジの頭部を傷めることがあります。
- ・木ネジを締め付けるときは、木ネジの径よりも少し細いキリで、下穴をあ けておきますと材料が割れたりせず、らくに締め付けることができます。

(木ネジの呼び径と下穴は表に合わせて選んでください。)

木ネジ呼び径	下穴径(mm)
3.1	2.0~2.2
3.5	2.2~2.5
3.8	2.5~2.8
4.5	2.9~3.2
4.8	3.1~3.4
5.1	3.3~3.6
5.5	3.6~3.9
5.8	4.0~4.2
6.1	4.2~4.4

・予備のバッテリを使用して連続作業をされる場合は、本機を15分以上休止させてください。

#### 穴あけ

## ⚠警告

穴の抜けぎわは、キリが折れたり、本機に大きな力がかかり振り回される 恐れがあります。穴の抜けぎわを確認しながら慎重に作業してください。

けがの原因になります。

キリを逆転させて抜くときは本機が振り回される恐れがありますので本機 をしっかり保持してからスイッチを入れてください。

- ・確実に保持していないと、けがの原因となります。
- ・切り替えリングをドリルマークに合わせてください。
- ・金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミを作って、そのクボミにキリの先をあてがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。
- ・穴あけ時には、キリに油(マシン油など)をつけて作業してください。

## 注

・本機を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください.

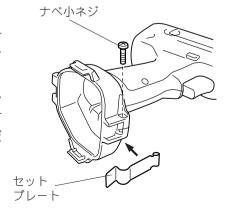
作業能率が低下するばかりでなく、1回の充電での使用時間が短くなります。

・予備のバッテリを使用して連続作業をされる場合は、本機を15分以上休止 させてください。

#### セットプレートの取り付け方

・バッテリ1202Aを使用するときは付 属品のセットプレートを取り付けて ください。

ナベ小ネジをネジ回しで取りはずし セットプレートを図の方向に取り付 け再びナベ小ネジを締め付けてくだ さい。



### 1回の充電での締め付け数および穴あけ

ドリルの切味・相手の材料などにより異なります。 スイッチの引金を最大に引き込んだ状態での値です。

	木ネジ寸法	材料	締め付け数
	3.5mmX22mm	- ラワン -	約780本
木ネジ	4.1mmX38mm		約275本
ハイン	5.5mmX50mm (低速使用時)		約120本
	6.2mmX50mm (低速使用時)		約90本

	ドリル径	材 料	板 厚	穴あけ数
鉄工用	3mm	· 冷間圧延鋼板	1.6mm	約520コ
	6.5mm			約110コ
木工用	9mm	ラワン	25mm	約360コ
	12mm			約250コ
	18mm (低速使用時)			約165コ
	24mm (低速使用時)			約90コ

## 保守・点検について

### ⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリを抜いてください。

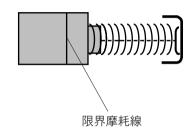
・バッテリを本機に差し込んだまま行うと事故の原因になります。

#### カーボンブラシの交換

カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。

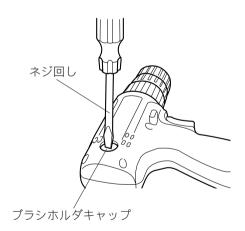
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩 耗したら新品と取り替えてください。

新品と交換の際は、マキタカーボン ブラシをご使用ください。



- ・ネジ回しでブラシホルダキャップを 取りはずしてください。
- ・中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行ってください。



#### ご修理の際は

・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売 店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

## 全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名 電話番号 事業所名 電話番号 事業所名 電	電話番号
札 幌 支 店 〈011〉(783)8141 足立営業所 〈03〉(3899)5855 東大阪営業所 〈0	06> (6746) 7531
札幌営業所 〈011〉 (783) 8141 大田営業所 〈03〉 (3763) 7553 関西物流センター 〈0	0725> (46) 6715
旭川営業所 (0166) (29) 0960 江戸川営業所 (03) (3653) 5171 南大阪営業所 (0	0725> (46) 6611
釧路営業所 (0154) (37) 4849 多摩営業所 (042) (384) 8411 奈良営業所 (0	0742> (61) 6484
函館営業所 (0138) (49) 9273 立川営業所 (042) (542) 1201 橿原営業所 (0	(0744) (22) 2061
	073> (471) 4585
	(0739) (25) 1027
	(098) (874) 1222
	(0794) (82) 7411
	(0794) (82) 7411
	(06) (6437) 3660
	078) (672) 6121
	(0792) (81) 0204
	(082) (293) 2231
	(082) (293) 2231
	(084) (923) 0960
	(0848) (64) 4850
	(086) (243) 4723
	(0836) (31) 4345
	(0834) (21) 5583
	(0857) (28) 5761
	(0852) (21) 0538
	(087) (841) 2201
	(087) (841) 2201
	(088) (626) 0555 (089) (951) 7666
	(0895) (951) 7666
	(088) (884) 7811
	(092) (411) 9201
	(092) (411) 9201
	(093) (551) 3481
	(0948) (26) 3361
	(0942) (43) 2441
	(0952) (30) 6603
	(095) (882) 6112
	(0956) (33) 4991
	(096) (389) 4300
	(096) (389) 4300
千葉営業所 (043) (231) 5521 伊勢営業所 (0596) (36) 3210 八代営業所 (0	(0965) (43) 1000
市川営業所 〈047〉(328) 1554 京都支店 〈075〉(621) 1135 大分営業所 〈0	(097) (567) 3320
成田営業所 (0478) (73) 8101 京都営業所 (075) (621) 1135 宮崎営業所 (0	(0985) (26) 1236
木更津営業所 (0438) (23) 2908 福知山営業所 (0773) (23) 7733 鹿児島営業所 (0	(099) (267) 5234
柏 営 業 所 (04) (7175) 0411 大津営業所 (077) (545) 5594 沖縄営業所 大	大阪支店の欄をご覧
東京支店 (03) (3816) 1141 彦根営業所 (0749) (22) 6184 <	ください。
東京営業所 〈03〉(3816) 1141 大阪支店 〈06〉(6351) 8771	
中野営業所 〈03〉(3337)8431 大阪営業所 〈06〉(6351)8771	

株式会社マキタ

881842B9

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒 446-8502 TEL.0566-98-1711 (代表)